

3分粥摂取時の7月上旬に誤嚥性肺炎を併発し7月12日血清Na値116mEq/lと低値を示したため同日からNaCl 14mEq/l/dayで補正を開始した。血清Naが正常値に回復し始めた7月21日頃から徐々に傾眠傾向となりこの頃から一転して高Na血症に陥った。その後Na値は正常化するが意識状態は悪化傾向をたどり8月1日には意識レベル300、四肢麻痺となった。1カ月後の頭部CTで腫瘍や脳血管障害を認めず橋に左右対称性LDAを認めた。臨床症状、臨床経過、頭部CTから中心橋髄鞘融解症が疑われた症例であった。本邦報告例を集計して併せて報告した。

11. 腹腔内膿瘍を形成した十二指腸潰瘍穿孔の1例 (朝霞台中央総合病院) 椋棒 豊・

村田 順・堀江良彰・八木美徳・
山竹正明・飯田 衛・清水舜一

症例は73歳女性で、1992年12月29日に嘔吐を主訴に来院する。感冒による急性胃腸炎の診断にて、救急外来で毎日点滴治療する。1993年1月10日に呼吸困難が出現し入院となる。腹部単純X-PおよびCT検査にて、肝前面にfree airを認める。内視鏡検査を施行し、球部から肝の辺縁が見え十二指腸潰瘍の穿孔と診断する。全身状態が悪く、手術の適応なしと判断し、保存的治療を施行する。3週後の内視鏡検査では、潰瘍穿孔部は閉鎖状態になっている。また、潰瘍穿孔部は治癒するも、腹腔内膿瘍部が残存し、1993年3月1日に、エコー下穿刺ドレナージ術を施行する。約2週間で膿瘍部も治癒し、同年3月27日に退院となる。

12. 特異な形態を呈した十二指腸癌の1例 (筑波胃腸病院)

谷川啓司・日高 真・大橋正樹

今回我々は十二指腸潰瘍経過観察中に発見した早期十二指腸癌を経験したので報告する。症例は40歳女性。十二指腸潰瘍幽門狭窄で入院後外来経過観察中であった。外来での上部内視鏡検査で十二指腸下降脚にポリープ状隆起を認め、生検にてgroup IIIであったため経過観察とした。3度目の生検にてgroup IVを得たので手術目的にて入院となった。血液、生化学検査や腹部血管造影、ERCPに異常を認めず、幽門狭窄改善のための幽門側胃切除および乳頭部十二指腸温存十二指腸切除術を施行した。術中所見にて漿膜面に浸潤を認めず、リンパ節腫大も認めなかった。術後病理標本にてBrunner腺腫が隆起を形成し、これを覆うように発生したnon-invasive adenocarcinomaであった。非常に稀な形態を呈した早期十二指腸癌を経験したの

で報告した。

13. 診断に苦慮し緊急手術を施行したイレウスの2例

(県央胃腸病院) 鈴木修司・吉利賢治・
田中 譲・藤本章・宮内倉之助

症例1は81歳女性。主訴は腹痛で単純性イレウスの診断で入院したが保存的療法で改善せず入院後4日目に手術を施行した。手術所見で左閉鎖孔ヘルニア嵌頓により空腸が一部壊死を起こしていたため約15cmの空腸切除とヘルニア門修復を行った。

症例2は35歳女性。急激な腹痛を主訴に来院。腹部所見、超音波検査、腹部レントゲン検査では異常なかったが来院時軽いショック状態であったため入院経過観察としたが翌朝より腹部腫瘤触知し超音波検査、腸追求検査にて絞扼性イレウスと診断し緊急手術を施行した。手術所見で空腸動脈の1分枝の動脈閉塞による空腸壊死とわかり70cmの空腸を切除した。

以上今回我々は診断に苦慮し緊急手術に至った症例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告した。

14. 腹部外傷受傷3週後に発症した下行結腸穿孔による広範な後腹膜膿瘍の1例

(谷津保健病院外科) 太田正徳・
御子柴幸男・糟谷 忍・平山芳文・
藤田 徹・宮崎正二郎・永田 仁

[症例] 59歳男性。2階より転落、近医で左肋骨骨折、血胸、左腎損傷の診断にて保存的治療で軽快し消化管症状も認めず。第21病日、突然左側腹部痛、発熱、下血出現。注腸造影で穿孔を認め当院転科。下行結腸穿孔による後腹膜腔膿瘍の診断で開腹し、穿孔部を含めた左半結腸切除術施行。切除標本で径5mm大のpunched out状の穿孔部を認め、組織学的に、穿孔部付近にretractile mesenteritisの所見を認めた。

[考察] 本症例は、腸間膜損傷による血栓形成の無い受傷後21日目の穿孔であり、原因はretractile mesenteritisにより癒着性収縮を来し、ごく狭い範囲の脈管狭窄による血流障害と推測した。

15. 下血を主訴とした硬化性腸間膜炎の1例

(社会保険城東病院外科) 小林 中・
佐藤裕一・佐上俊和・窪田徳幸

今回、我々は稀な硬化性腸間膜炎の1例を経験したので報告する。症例は60歳、女性。1993年7月11日より暗赤色の下血あり、入院。軽度の貧血あり、腹部超音波・骨盤CTで3cmの腫瘤を、小腸造影で回腸末端に圧排を認め、7月20日に回盲部切除術を施行すると